

アドベンチャーラリー

淡路アドベンチャーラリー

～アドベンチャーに挑戦～



国立淡路青少年交流の家

アドベンチャーラリー

アドベンチャーに挑戦

■ 概要

グループで協力して課題を解決する活動を通して、協力することを楽しみ、仲間との信頼関係を高めます。

■ ねらい

- 与えられた課題にグループで協力して取り組む。
 - グループの中で主体的に活動する。
 - あきらめずに最後まで課題を解決する姿勢で臨む。
 - 課題に対するグループの取り組み、個人の取り組み姿勢をみる。
 - グループのあり方について考させる。
- } 参加者
} 指導者

■ 準備物

準備物	必要数
○水筒	各自
○帽子	各自
○軍手 (島渡りを実施の時)	各自
○タオル	各自

■ 指導者、人数、費用など

対象	小学校5年生以上
指導形態	職員が活動の説明・進行・ふりかえり等を指導します。 ※活動によっては団体指導者のサポートをお願いします。
人数	6~40人 ※41人以上で実施する場合は ご相談ください。
1グループ人数	6~12人
費用	7,500円/1回
実施時間	2~2.5時間
場所	屋外 お祭り広場・友情の広場 ※荒天時は室内
時期	1年中

■ 服装

運動ができる服装

運動靴

上靴

(荒天時は種目を変更して室内で実施します。)

■ 事前

- ・より効果的の指導のために2週間前までに事前調査票をご提出ください。
- ・団体指導者は、活動実施30分前に、職員による事前打合せを受ける。
- ・団体内でグループ分け・実施種目・支援体制を決めておく。

■ 展開

	活動	職員の動き	研修生の動き	団体指導者の動き
打合せ (30分)	職員と団体指導者との打合せ	活動の内容や留意事項について団体指導者と確認する		活動の内容や留意事項について職員と確認する
導入 (15分)	全体概略の説明	・全体概略を説明する	・全体概略を理解する	・研修生の支援を行う
	安全指導(全般)	・本日举行種目に応じた安全指導を行う	・安全上の注意点を理解する	・研修生の支援を行う
	移動	・各種目を行う場所へ移動	・グループに分かれて、それぞれの活動場所へ移動する	・全体を巡回する
活動中 (90分)※3種目時	グループ活動 ※1種目30分として3種目行った場合は90分必要	・種目指導者は課題ルールを説明する ・活動中はグループ内の様子を観察する ・本部は全体の進み具合を集約し時間調整等を行う	・1種目につき3～4グループを基本として、それぞれのグループごとに各種目を行う	・全体を巡回する ・適宜、研修生の支援を行う
まとめ (15分)	ふりかえり	・グループ内で研修生の感想交流のサポートをする ・全体でのふりかえりを行う	・グループ内でお互いの感想を交流するとともに全体でも共有する。	・グループ内での研修生の感想交流を支援する

■ 留意点

安全上の留意点

- ・ 島渡りを実施する場合は、必ず軍手を着用する。

指導上の留意点

- ・ この活動は、グループで課題を解決することを目的としています。活動の開始から終了までの間は、グループ内に様々な状況が生まれてきます。その状況にどう関わったのか、その状況にどう対応して行ったのかが参加者たちに求められています。また、ふりかえりの重要なポイントとなります。指導にあたる方々はそのことを十分に踏まえ、活動中にグループをうまく機能させるための助言や安全面以外での過度なグループへのかかわり、指示や介入といったものは避けたほうがより効果的です。

■ 雨天時の対応

- ・ 雨天でも屋内で実施可能です。(種目が変更になる場合があります。)
- ・ 体育館で実施する場合は、上靴が必要です

種目一覧

①砂の楼閣

「砂をできるだけ高く積み上げる活動」

②ラインナップ

「平均台の上で一列に並んだ人が全員入れ替わる活動」

③交通渋滞

「一列に並んだ人が、ルールに従って左右全員入れ替わる時間を競う活動」

④ブラインドスクエア

「アイマスクをしてひもで正方形つくる活動」

⑤時限爆弾

「離れたところにある球の入ったバケツをロープを道具として移動させる活動」

⑥パイプライン

「ハーフパイプで協力してビー玉を運ぶ活動」

⑦島わたり

「2つの島を、与えられた板2枚のみで渡り切る活動」

⑧キーパンチ

「1~30まで書かれたカードを順番に踏んでいく活動」

⑨川わたり

「一人一枚マットの上に乗し、一方から反対側へ移動する活動」

⑩魔法のじゅうたん

「じゅうたんの上に乗った状態で、一人も落ちることなくじゅうたんを裏返しにする活動」

